

MENU

メルマガ・アーカイブ

医療経営セミナー紹介

会計事務所紹介

リース会社紹介

保険相談 Q & A

保険のご質問・ご相談はこちら

資産運用のご質問・ご相談はこちら

アドバイスを受けながら手数料なしのファンドが選べる楽天証券の口座開設はこちら

会計事務所のご質問・ご相談はこちら



メールマガジンアーカイブ

2007/11/1 投資って結構簡単！？

[メルマガアーカイブTOPに戻る](#)

[リスクマネジメントラボラトリーのHPへ](#)

すぐにできる！ Vol.13
忙しいドクターのための資産運用

～ 投資って結構簡単！？～

こんにちは、リスクマネジメント・ラボラトリー 代表の中澤です。

このシリーズでは積立投資についてRML社のスタッフの例を対談形式でお伝えしたいと思います。

35歳女性・RML社IT戦略室の井上が、将来の為に資産運用をどうすればよいか？（まったくの素人）相談を始めました。。



1. 相談のきっかけ

中澤 今回の相談内容は何ですか？

井上 将来のために積み立てをしたいのだけれどどうしたらいいのかわからなくて。

中澤 じゃあまず、株式市場の過去について見てみましょう。



積立投資



1989年12月から2006年12月まで毎月1万円づつ、合計204万円を積み立てた場合を現しています。黄

色の線は預金で積立をした場合で216万円になっています。
赤の線は日本株全体に積立をしていた場合で、267万円になっています。

井上 このグラフは日本株ということですけど、どこの株を買っているんですか？

中澤 グラフのタイトルにTOPIXとあります。TOPIXとは、東京証券取引所の一部に上場している全ての企業の1968年1月4日の時価総額である約8兆6200億円を100として、それがどのように推移したかを指数化したものです。ちなみに2007年9月末の時価総額は約532兆円です。
特定の株式のみを見ると当たりはずれがあるので通常はこのように市場全体でシミュレーションをします。

井上 途中は値下がりしている時期もあるようですが大丈夫ですか？

中澤 89年末からスタートしていますが、ちょうどバブル崩壊と同時にスタートをしたと仮定しています。その時のTOPIXは2881.37(日経平均は38915.87)でした。ちなみに昨年末でTOPIXは1681.07、日経平均は17225.83でした。
赤のグラフが97年から98年にかけて大きく下がっていますが、このときは日本の保険会社や銀行、証券会社などが大量に破綻した時期です。



井上 山一証券や日本長期信用銀行が破綻したときですね。

中澤 でもその後2000年にかけていわゆるITバブルで株価は約2倍になりました。赤のグラフが黄色のグラフの上になっていますよね。日本株に投資をしていた方は『やれやれ』と思ったことでしょう。でも、その後ITバブルの崩壊から、まだ記憶に新しい同時多発テロからイラク戦争と株価は日本も含め世界的に大きく値下がりました。

井上 89年からのグラフということはちょうどバブル崩壊からのグラフなんですね。

中澤 投資をする場合に大事なことは、良いケースのみを想定するのではなく、悪いことが起こった場合どうなるか、その場合の評価損はどのくらいを覚悟しておけばよいかのシミュレーションをすることです。そうすることで悪い時期を乗り切り成果がでるまで継続することも出来ます。

井上さんも今回投資を始めようとしているわけですが、『良い商品を紹介して欲しい』と思いますよね。

井上 勿論そうです。商品の良し悪しで結果が変わるではないのですか？

中澤 例えばこの赤のグラフの商品を買ったとしましょう。今まで続けていた人は『預金より殖えたし、途中は大丈夫かな、と思ったけど結果としてはよかった』、と思うでしょう。ところが、仮に98年や02年に取り崩す予定があった方にとってはどうでしょう？

井上 がっかりですね。。場合によってはひどいものを勧められたと思うかもしれません。

中澤 同じ時期にスタートして同じ商品に投資をしてもまったく異なる結果が生じるわけです。成否を分ける鍵は2つあります。ひとつは『時間をかけること』、もうひとつは『値動きを我慢すること』、です。

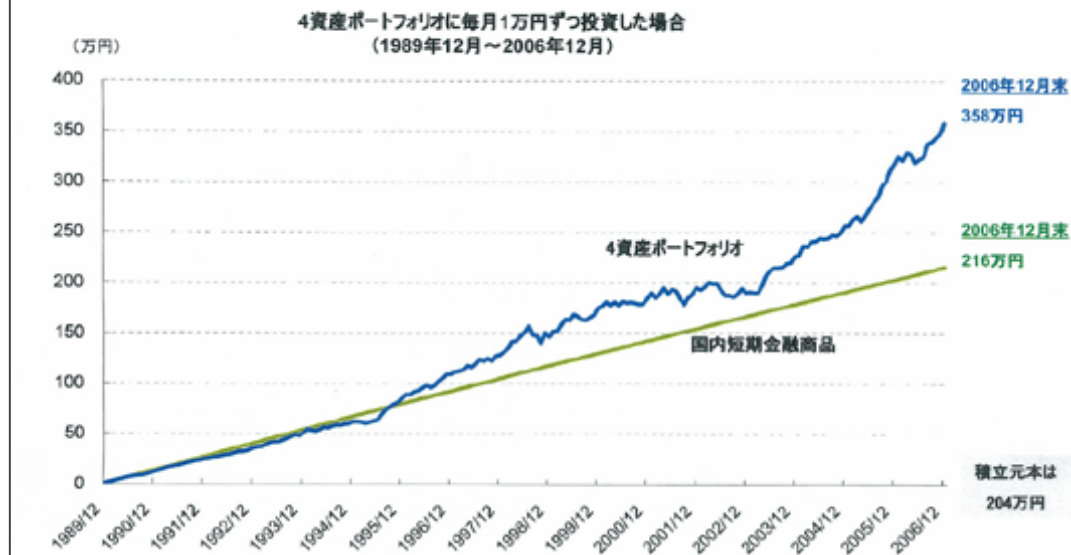


井上 値動きを我慢していると良いことがおこるんですね。ドキドキしないで良いことが起こるともっといいのですが、元本保証って言葉に私を含めてみんな弱いですよね。

中澤 値動きを避けるあまり、元本保証型といった商品を買うと目に見えないコストも多いし、結果的に長い時間をかけてもお金は殖えません。ただ値動きを受入れるといてもどのくらい動くのかの目安がつかなければ困りますよね。違う言い方をするとどのくらいの値動きなら我慢できるかによって商品や組合せを決めればよいということになりますよね。

井上 ずいぶんグラフの形がちがいますね。

積立投資



グラフの浮き沈みがすくないですねこっちのほうがいいけど何が違うんですか？

中澤 青いグラフはタイトルにあるように4資産ポートフォリオ、つまり国内外の株式と債券を25%ずつ組み合わせる投資をしたものです。金額が違う点もそうですがグラフの形が大きく異なります。青のグラフは赤のグラフに比べずいぶん穏やかな値動きになっていますよね。この時期に関しては日本株の下落を海外資産が補っているわけです。

2. 組み合わせのタイプを決める

井上 単一のものに投資するより、複数のものを組み合わせたほうがいいのは理解できたのですが、何をどうやって組み合わせればいいのでしょうか？

中澤 一つは期間、二つ目はリスク許容度です。

井上 世の中にはお金の浮き沈みが気になって夜も寝れないという人もいるようですが、私の場合は当面使う予定がないお金なら、ある程度のデコボコは我慢は出来ると思うわ。



中澤 投資の場合は値動きが大きいと長期のリターンは大きくなりますし、逆に値動きが小さいとリターンは小さくなります。これがハイリスク・ハイリターン原則です。山登りでは、高い山に登るときはアップダウンが大きいですが穏やかなハイキングのようなコースだとアップダウンが小さいですね。まさにそのようなイメージです。

リターンに対する期待だけで商品やポートフォリオを決めると、大きな値動きに耐えられなくなり投資をストップしてしまうかもしれませんし、

反対に

長期的に高い目標があり、かつ、値動きに耐えられるのに緩やかな山を選ぶと、リターンが少なくて悔しい思いをする、

こともありますよね。

井上 そこまで考えてやらなくちゃだめなんだ・・・。

中澤 じゃあ、井上さんにとって間違いがないポートフォリオを作るためにいくつか確認したいんだけど、
(後日、つづく・・・)

すでに必要になるという資金ではなく、中長期的な運用をお考えになっている資金についてお問い合わせいたします。該当する番号に○を入れてください。

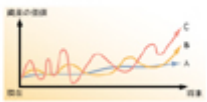
Q1 次のうちこれまでに購入したことがある金融商品はどれですか？(複数回答可)
 1. 債券 2. 外貨基金、外貨建てMMF 3. 投資信託
 4. 株式 5. 個人租税なし

Q2 現在、どのような金融商品を保有していますか？
 1. 預貯金のみ
 2. 預貯金を中心だが、株式や投資信託のような価格が変動する資産にも一部は投資している
 3. 株式や投資信託のような価格が変動する資産を中心に投資している

Q3 今お考えの投資の主な目的はなんですか？
 1. 生活資金 2. 住宅資金 3. 結婚資金
 4. 教育資金 5. 老後資金 6. 貯蓄 7. その他

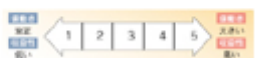
Q4 投資期間はどれくらいの長さをお考えですか？
 1. 3年以下 2. 3~5年程度 3. 5~10年程度 4. 10年以上

Q5 資産価格の変動について、お客様のお考えにもっとも近いものはどれですか？
 1. (安定的) 価格の変動はできるだけ抑え、安定的に収益を確保したい。(イメージA)
 2. (中期的) ある程度の価格の変動を許容しつつ、収益の成長を目指したい。(イメージB)
 3. (積極的) 価格の大きな変動は想定の上で、収益の成長を積極的に追求したい。(イメージC)



Q6 投資している際には資産の価格が下がることもあります。この価格の下落に対する考え方で正しいものはどれですか？
 1. 収益は低くても、できれば下落幅は小さくしたい
 2. 状況の状況によっては、ある程度の下落は許容できる
 3. 高い収益を目標するためには、大きな下落も許容できる

Q7 資産の価格と期待される収益について、お客様のお考えに近いものを次の図から選んでください。



Q8 資産の価格が上がったり下がったりする状況を想像したとき、次のどちらのケースがより得意に感じますか？
 1. 投資した後すぐに価格が下がってしまった
 2. 価格が上がったとき投資をしていなかった

Q9 現在の資産状況を教えてください
 投資信託のうち、どの分野に投入しているかご不明な場合は、下記記入欄に商品名と金額を記入ください。


商品名	金額	投資すべき分野/商品	金額
債券	万円	株式	万円
日本株式	万円		万円
海外株式	万円		万円
日本債券	万円		万円
海外債券	万円		万円

Q10 今回投資を考慮している金額はどれくらいですか？ _____ 万円

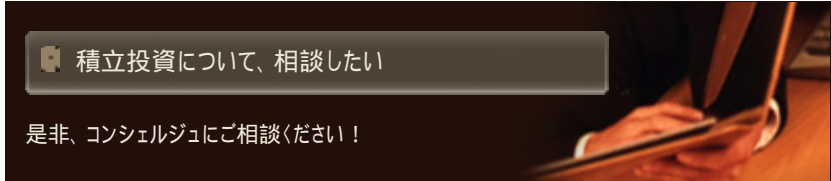
Q11 その資金は新しい資金ですか？ Q9でお答えいただいた資金に含まれますか？
 1. 新しい資金
 2. Q9の資金に含まれる
 その場合、どの分野に含められていますか？ _____

ご記入日 平成 年 月 日
 お名前 _____

投資についての疑問、質問等はまずはお気軽にメールにてご相談ください。メールにて対応させていただきます。

 **積立投資について、相談したい**

是非、コンシェルジュにご相談ください！



[▲ PAGE TOP](#)